

ゲームスーパーバイザーコロナ対策の手引き

- ・『大会にコロナを持ち込まない・持ち込ませない』
以下 SV でまかなえないところは、随時オフィシャルに指示し、完遂する。

試合前

- ・リンク建物内でのミーティング禁止について、注意徹底する。試合終了後速やかに出庫するよう依頼する。
- ・会場への入退場：20分前を徹底する。(リンクのルールに従ってもらう)
- ・更衣場所の案内(誤った場所で着替えている場合 → リンクのルールに従うよう案内する)
横浜銀行アイスアリーナの F 区分(22:30~)はギャラリーとロッカールームが指定です。
ホームチーム ~ 貸し靴前ギャラリー
ビジターチーム ~ コインロッカールーム とします。
- ・全参加者が既定の KIH F サイトに掲載されている体調・体温管理表フォーマットに入力し
体調管理が徹底されていること、全参加者各自データ保管していることを認識し、有事には、
提出を求め、回収し、連盟に提出することとする。
- ・リンク建物内でのマスク着用の徹底。(不織布マスクに限る)
マスクをはずしていいのは試合中における選手のみ。
- ・観客：無観客とします。チームとしての動画撮影担当等はメンバー表に記載した役員でなくてはならない旨、徹底する。また、ベンチ役員の兼任はできない。
- ・横浜銀行アイスアリーナ団体利用簿及び感染チェックシートの回収と提出
正面玄関で紙ベースフォーマットを3枚ピックアップする(不足はコピーする)。
体温測定機とフォーマットを渡し、対戦チーム各1枚に全項目記載頂き、
また、スーパーバイザーとレフェリーとオフィシャル分をスーパーバイザーが
記載し、まとめて1枚、合計3枚でリンクパトロール担当者に提出する。
提出のみ試合後でも可とする。
- ・試合メンバー表を回収 表記を試合に参加予定の選手、役員のみにするため、必ず参加しない
選手・役員を削除する。その日リンクに居たかどうかを後日確認し易くするためです。

- ・サーキュレーター²の設置(* 試合終了後、必ず元通りに返却し戻すこととする)
 - ・リンク中央入口のスティックケースにあるサーキュレーター2台を移動させ、各チームベンチの真ん中センターラインの延長上にある入り口側の柱前に背中合わせで設置する。
 - ・同じくスティックケースに置いてあるドラムコードリールをサーキュレーターの間
 - ・ドラムリールの電源コネクタをリンク入口にあるコンセントに差し込む。
 その際、そのコードはスティックケース上を通す→床を這わす部分は黒いゴムカバーで踏まれないよう覆い入口を横切らせる→ベンチの裏を通す→センターラインの延長上にある入り口側柱のすぐ前、サーキュレーターの間

サーキュレーター、ドラムコードリールは、中央入り口のスティックケースから移設



ドラムコードリールをセンターライン延長線上の入り口側柱のすぐ前に設置



ドラムリールの前にサーキュレーターを背中合わせに設置しコンセントに差す。



ドラムの黄色コードについて、中央入り口を横断させる際、ゴムのカバーで必ず覆う



ドラムの黄色コードをスティックケースの上を這わせ、中央入り口にあるコンセントに差す。施錠されている場合は、リンクパトロール担当者に開錠を依頼。



上記もオフィシャルと協力して実施する。

試合中(ルール遵守徹底されていない場合は、時計停止時にマイクで案内する)

1. 唾吐き禁止徹底のための監視：試合中に限らずリンク建物内での全面的禁止を徹底する。
2. 咳エチケットを注意徹底する。
3. 握手等の禁止を注意徹底する。レフェリーとも不要です。
4. 試合前、試合後の整列は通常どおり行わせる。
本部席、相手チームへの全員での挨拶は不要。キャプテンのみが簡潔に行うように案内する。
5. ゴール前の円陣は会話を最小限にさせる。
6. 飲水ボトル、タオルは共用しないようにさせる。
7. ベンチからの戦術指示を除く大声出しの禁止を徹底する。
8. ベンチでの選手の待機は着席させるよう守らなければ、マイクで案内する。
(日ア連のコロナ対策指導です)
9. チームスタッフのマスク着用を徹底する。 (不織布マスクに限る)
10. 選手にはパックを拾わせない。レフェリーにまかせる。スティックで扱うことは可とする。

試合後

- ・試合終了後、ベンチ、更衣スペースにゴミは残さず必ず持ち帰らせる。これまで以上に注意すること。ペットボトル等の置き忘れについて注意徹底する。
- ・リンク建物内で集合してのミーティング禁止と早期出庫を徹底する。

オフィシャルに対して

11. 全員マスク着用を徹底させる。(不織布マスクに限る)
12. 会話は必要最小限にさせる。本部席に密集しないよう適度に距離をとって任務を遂行させる。
13. 連盟室には用具の準備、ゲームシート作成等必要な人数しか入室させないよう徹底する。

レフェリーに対して

- ・試合レフェリングは通常どおり行って頂く。
- ・マスク、マウスシールド、ホイッスル、電子ホイッスル等の使用についてはレフェリー委員会からの指示にしたがって頂く。通常ホイッスルも可とする。
- ・更衣は通常どおりレフェリー室にてお願いします。入室は担当レフェリー3人のみとします。
パック授受、連絡、ゲームシート確認等の場合担当者は入室せずにドアノック後室外にてやりとりする。

その他

- ・大会関係者に新型コロナウイルス感染症が発生した場合(大会に無関係であっても)遅滞なく連盟に報告すること。
- ・大会関係者に新型コロナウイルス感染症が発生した場合、その程度により試合の中止、大会の中断、大会の打ち切りを行う場合がある。
- ・再び社会情勢が悪化した場合、状況により大会の中止、打ち切りを行う場合がある。
- ・ビブスは、着用したチームが責任を持って洗濯し、**使用日翌日から数えて3日以内**に連盟室の所定位置に返却する。
- ・サーキュレーターが元通りに戻っているか確認する。戻っていなかった場合、必ず戻すこと。

神奈川県アイスホッケー連盟新型コロナウイルス関連緊急時の対応フロー

1. 新型コロナウイルス感染症が疑われる方が横浜銀行アイスアリーナまたは、KOSÉ 新横浜スケートセンターにて、体調不良を訴えた場合の対応は以下のとおりにする。
 - ① リンクスタッフ及びSV・連盟 info@kihf.net への報告
 - ② 横浜市新型コロナウイルス感染症コールセンターTEL：045-550-5530 受付時間 24 時間対応（土日祝含む）に連絡し指示を仰ぐ。
 - ③ 体調不良者を個室に隔離し電話等でコールセンターの指示通りに対応を行う。
 - ④ 施設利用者及び職員に連絡、マスクの着用及び手洗い、手指消毒を依頼し、コロナ感染症が否定されるまでは利用中止を依頼
 - ⑤ 施設スタッフに施設閉鎖対応をお願いし、入り口を施錠頂く。

2. 濃厚接触者となり得る利用者、職員の把握と過去 2 週間以内に利用された方の感染が発覚した場合の対応は以下のとおりとする。
 - ① リンクスタッフ及びSV・連盟 info@kihf.net への報告
 - ② 横浜市新型コロナウイルス感染症コールセンターTEL：045-550-5530 受付時間 24 時間対応（土日祝含む）に連絡し指示を仰ぐ。
 - ③ 施設利用者に連絡、マスクの着用及び手洗い、手指消毒を依頼し、コールセンター・保健所の指示があるまでは利用中止を依頼する。
 - ④ 施設スタッフに施設閉鎖対応をお願いし、入り口を施錠頂く。
 - ⑤ 濃厚接触者となり得る利用者、職員を把握する。

以上、最低限の規則を快く守って、スムーズに試合を楽しんでいただけることを期待しています。
もし、守れない場合、スーパーバイザー、レフェリーあるいは連盟役員の判断で退場していただく場合があります。